

令和4年1月28日

院内での新型コロナウイルス感染症の陽性者の発生について（最終報告）

当センターにおいて新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認された事案につきまして、先の第一報に続き、ご報告をいたします。

1月23日（日）に当センターの新型コロナウイルス感染症対応病棟に勤務する職員が体調不良を訴えたため、SARS-CoV-2 核酸検出検査（PCR 検査）を実施したところ、陽性が確認されました。そのため、当該職員との接触が疑われる職員並びに入院患者さんを洗い出し、PCR 検査を実施いたしました。検査で陽性が確認された職員及び患者さんは、新型コロナウイルス感染症対応病棟への入院、転棟を行い、あらためて当該陽性者との濃厚接触者等を洗い出し、PCR 検査を実施いたしましたが、新たな感染者は確認されておりません。

最終的に陽性が確認された職員は5名、入院患者さんは4名の合計9名となっています。

また、診療につきましては、感染確認後、救急患者及び新規入院患者の受け入れを中止したところです。

その後、初めの検査で陰性を確認した職員及び患者さんについて、4日後にも再度 PCR 検査を実施したところ、全員の陰性を確認いたしました。

以上のことから、さらなる感染拡大は無いものと判断し、1月29日（土）から救急患者及び新規入院患者の受け入れを再開し、通常の診療体制といたします。

今回の院内で新型コロナの陽性者が確認されたことにより、多くの患者さん、ご家族の皆様、近隣医療機関の皆様、地区医師会、さいたま市保健所の皆様、並びに地域の皆様には、大変なご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと、心からお詫び申し上げます。

今後、さらなる感染防止対策に努め、地域の基幹病院として地域医療に貢献するべく努力してまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

さいたま市民医療センター  
院長 百村 伸一